

様式第3号

会 議 録

会議名 (付 属 機 関 等 名)		令和元年度 第3回 川西市産業ビジョン推進委員会ビジョン策定部会		
事務局 (担 当 課)		市民環境部 産業振興課		
開催日時		令和元年9月20日(金)午後1時～3時		
開催場所		川西市役所 B02会議室		
出席者	委員	佐々木部会長、荒井部会員、時任部会員、山本部会員、 佐藤部会員、木原部会員、長谷川部会員		
	事務局	市民環境部 石田部長、阪上副部長、 産業振興課 千葉課長、大島課長補佐、中野主事		
傍聴の可否予定		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 産業ビジョンについて (2) 基本理念と体系について (3) その他 3 閉会		
会議結果		別紙 審議経過のとおり		

審 議 経 過

部会長	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 産業ビジョンについて</p> <p>(2) 基本理念と体系について</p> <p>まだビジョンの後半に埋められていない部分ありますけれども、骨子が提示されております。前回の会議では、ヒアリングの実施結果、そこから出てきた課題について、ビジョンの体系案についての協議をいただきました。委員の皆様方からは、市が産業の振興に向けてどのような方針を持って、こういったキーワードを抽出すべきなのか、また具体的な事業の取り上げ方などについて、多数御意見の方を賜りました。</p> <p>これを受けて、本日、案の方を作成していただいております。</p> <p>本日は、資料1がビジョンの位置付け、統計、ヒアリングによる課題の抽出、基本方針、ビジョンの推進体制、こういった部分の書き込みが行われております。</p> <p>このうち第4章にあたる施策や事業の書き込みについては、本日の議論を基に作成を行い、次回10月15日に予定している全体会に向けて示す予定となっております。</p> <p>第4章の部分については、資料2に基本方針、アクションプランの概略をまとめていただいております。</p> <p>会議は3時を予定しておりますので、前回に引き続き円滑な進行に御協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは本日の議事は二つになっておりますが、相互に関連するものでありますので、うまく手分けしながら、事務局の方から適宜説明の方をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p><資料1 川西市産業ビジョン 第1～3・5章(案)の1・2章の部分について説明></p>
部会長	<p><質疑応答・意見交換></p> <p>ただ今、序章から2章について御説明いただきました。それでは、もうランダムで結構ですので、御意見、御質問等おありでしたら、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、私から、先に気付いた細かい点だけ申しますと、まず、序章の最初のところから見ていきますと西暦表記で書かれています。第1章に入ると元号表記が統一されていますので、ちょっと見にくいといえますか。できればグラフなどの方は作りいただいた形がいいと思いますけども、本文のところは、令和何年とかの後に西暦を入れていただいた方が分かりやすいと思います。</p> <p>あと、各産業の分析の部分ですが、若干グラフや図を見ていると、違うんじゃないかというようなところもありますので、そこは精査していただきたいと思います。例えば16ページの小売業、商業のところですが、16ページの(1)の 番、小売店舗数及</p>

	<p>び従業者数の推移で、小売店舗数は確かに平成 11 年からもう傾向的に低落していますが、従業者数の方はそうなってはいません。平成 21 年までは、むしろアップダウンを繰り返しながらも増加傾向が見られるので、一括して小売店舗数と従業者数が減少し続けていると書いてしまうと、事実と反するところがありますので精査いただきたいと思います。</p> <p>19 ページの工業のところ、業種構造が出てきません。川西市の工業といっても、やはりいろんな種類によって構成されているはずで、市内総生産のデータなどを見ると、多様な産業が見受けられますので、川西市の工業の構造の中で、時系列的に見て何が増えてきて減ってきているのか、事業所数の減少というのは、主にどこが中心軸になっているのかという辺りが分かれば、ビジョンへの反映につながるのを見ていただきたいと思います。</p> <p>23 ページの農業の耕作放棄地などのところで、就業人数、就業者数、就業人口と、用語がばらばらなので統一された方が分かりやすいです。同じく農業のところで、26 ページも同じように、ちょっと就業人口の言葉が違っていますので、合わせておいていただければと思います。あと、耕作放棄地、作付面積が減少とありますが、耕作放棄地が少なくなっているというのはいいいことで、作付面積が減っているというのはいよくないことです。その辺り、何が課題なのかということにもつながりますので精査をしていただければと思います。</p> <p>そのほか、委員の皆様方、何かございますか。</p>
委員	<p>全体的な課題の整理と、現状の分析と課題の整理は、かなり丁寧にできているかなと思います。このまとめが 37 ページですが、これを辿っていくと、一番最後が市内商業の衰退、工業の衰退、観光の上位を逃す、もう何かお先真っ暗な言葉に収束しています。この課題があるのは間違いないと思いますが、これが続くと市内商業が衰退していくという意味で使ったのか意図がよく分かりませんが、まとめ方として希望がなさすぎるので、最後の一行で表す言葉を考えた方がいいと思います。全体的にお先真っ暗な状況ではないんじゃないかと思いますので検討いただきたいと思います。</p> <p>それから農業について、生産緑地制度が変わるということがあります。届出されている生産緑地面積がどのくらいあるのかというの、どこか資料に入れられてはと思います。生産緑地は耕作放棄地ではないはずなので、生産緑地があるということは、それは将来的に保全される農地であると思います。</p> <p>もう一つ、「観光入れ込み客」という言葉があるんですけど、一般的にこの「れ」と「み」は入れないで、漢字で「入込」だと思います。「入込」と表現した表や、文書に「入れ込み」と両方使っています。漢字で「入込客」と統一した方がいいと。</p>
部会長	<p>37 ページの課題の整理は、問題点のことなので、否定的な表現にならざるを得ないのかもしれませんが、こういうふうに持っていきたいというようなポジティブな表現方法もできると思います。確かに、暗くなってしまう。市民の皆様にも提示できるポジティブな産業像というものを見てもらうためにも検討いただければと思います。</p> <p>表現ですけども、新聞の漢字の用法も使って、統一していただければと思います。</p>

部会員	<p>私は、全体的に、細かいところは別にしても、よくできているなというのが感想です。それを前提に、少しでも御意見申し上げるとしたら、今話題になっている37ページのところは見やすいのですが、確かに衰退とか課題が列挙されているので、やはりこの課題を克服する、強みを活かすことによって課題を見出すという考え方もあると思います。強みにリンクした方が、後で使いやすくなるんじゃないかと。</p>
委員	<p>ポジティブな単語を少し盛り込むとか。</p> <p>もう一点は、前回の産業ビジョンを作られたときでも、同じ課題があったと思うんです。例えば小売店舗数は当然減少しているし、郊外の店舗で買いに行くのも、それもここ何年かで始まったものではありません。前回挙げられた課題について、何らかの施策を打ったと思うので、その施策に対する反省や評価みたいなものがないと、前回と同じことを繰り返していただくということになるので、そこは後々触れられた方がいいのかなと思いました。</p>
部会長	<p>一つ目に関しては、列挙してこうポジティブに川西市が産業構造として持っている強みは、十分書き込めると思います。</p> <p>二つ目は、今回ちょっと提示していただいた資料には入っていませんので、やはり前回の産業ビジョンから、どういうところが展開されて、どういう対応がなされたのか、どういう改善がなされたのかについて検討をよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>37ページですが、一番目の商業の課題の買物の傾向のところ、市民の市内消費が伸びないというような表現があるんですが、一方で17ページの方で、市民の買物をする回答がかなり増加しておりまして、ポジティブな表現も入れつつ課題という書きぶりに工夫されてはどうかというふうに、印象として思いました。</p>
部会長	<p>その点のご指摘のとおりで、商業のデータ分析には非常に評価できる点が多々ありまして、確かに小売中心性指数は1を切っていますが、0.8を超えています。他市と比べてもそんなに悪くないですし、その後に出されている市内で買物する比率は非常に高いので、むしろ市内の商業にとって強みとして打ち出せます。</p> <p>やはり市民の方々は、川西市内で結構買物をしていただいていますので、商業というものを今後10年、20年見据えたときの一つの基盤として考えられますので、ぜひその辺りも活かしていただければと思います。</p> <p>今、御指摘いただいたことは、ステレオタイプの「もう従業者数が減っている、何か駄目なんだ」というような、非常にそういう捉え方が多く全体的に見受けられます。実は具体的にデータを見ていくと、そうじゃない部分が結構見受けられますので、自信を持って書いていただいてもいいと思っております。</p> <p>それと併せると、37ページの課題に至るまでのロジックは、企業就労に関する課題の整理も廃業率が高い、「働く場所がない」廃業率のデータは、確かに掲載されていますが「働く場所がない」とか「人材不足」とかも、商業とか工業でロジック展開されている立て方と異質というところもあります。ここの柱の展開の立て方のところも見ていただければと思います。</p> <p>2章までのところではいかがでしょうか。</p>

	<p>では、後半の方の御説明に移りたいと思います。</p>
事務局	<p><資料1 川西市産業ビジョン 第1～3・5章(案)の3・5章の部分について説明></p>
部会長	<p><質疑応答・意見交換></p> <p>ただ今後半の部分、3～5章のビジョンの案について御説明をいただきました。</p> <p>委員が到着されていますので、これまでの1・2章についてご意見があればお伝えくださいますでしょうか。</p>
委員	<p>見させていただきましたが、特には大丈夫です。</p>
部会長	<p>それでは、3、4、5章の質問ですとか、御意見の方に移らせていただきたいと思えます。</p>
委員	<p>質問ですが、産業ビジョンの方が、前期、後期で3年、5年という話だったんですが、このアクションプランはどこをゴールで目指していますか。</p>
事務局	<p>基本的には8年というふうに考えております。ただ、実際に事業がいつから進められるのかということについては、これからどんな事業にするかということも含めて考えていかないといけないので、8年間の間のどこかから始まるかというような形では考えています。</p>
委員	<p>あともう一点質問ですけど、資料2の既存事業に取消し線を引かれているところが幾つかありますが、それぞれ簡単にお話を聞かせていただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>まず上から下にいきますと、女性起業塾についてですが、これは4年目を迎えている女性の方を対象とした起業セミナーに当たります。現在好評で、塾生も毎年集まってくるのですが、4回目までしていくにつれて、徐々にその卒業生が、それぞれ自主的な形で関係性を作りウーマンクリエイトという名前の団体で、起業家さんが集まってイベントを開いて、勉強会をしたりという形で、自主的な中で高めあうような関係ができてきています。ですので、市として事業を実施するのは、一旦役割としては果たしているのかなというところで考えています。それと同時に、商工会の方でも起業セミナーをやっておりまして、そちらが年に3クールぐらいあります。その3クールのうちの1クールが女性の方を対象にしたセミナーをやっています。実際にその女性を対象としたセミナーが、同時期に開催されているようなこともあり、商工会にお願いをしながら、市としては、また別の形で起業の他の方に対して支援を検討していくといいのではないかとということで、見直しとさせていただいているところでます。</p> <p>次の融資あっせん制度につきましては、年に5件ぐらいの件数しかない状態になっています。市内の事業者の保証協会の保証を受けてお金を借りている実績をかなり件数としてはありますが、そのごく一部しか利用がない状況になっております。また兵庫県も融資あっせん制度をやっておりまして、川西市のやっている制度とほとんど内容がかぶっています。県の制度は、融資実績もあり、金融機関の方でどこの制度を案内しているのかということもありますが、市も県も二重で同じことをやっているとということになっておりますので、そこは県の制度の方をお願いをさせていただいて、その県の制度を活</p>

用した方については、右の欄にある「信用保証料の支援」ということで、市が信用保証料について補助をするというような制度として検討しています。

次も「新規出店開業支援補助金」としているのが、これがひょうご産業活性化センターの補助金を受けたところに対して、市が随伴で補助をするというような立て付けの事業になっています。これは、どうしてもその県の補助金の申請スケジュールに合ったものが対象になりまして、そこで選考を受けてしまうので、そこで落ちてしまうものも対象ではなくなってしまうという課題もあり、市の制度のハードルが高くなっています。このハードルを低くしていきたいという思いがあり、新たに先ほどの1の1の のところにある新規開業内装工事の補助金とか、中活空き店舗出店に対する補助金を設けています。補助の金額についても高くはできないと思うんですけども、より多くの出店者の方に対して支援をするべきという考えです

次の3のところでは、五つ星ひょうごの補助というところで、これは県が認定する「五つ星ひょうご」というものがありまして、その認定を受けた者に対して、商品のPRするための広告宣伝費などに補助をする仕組みのものです。これも、はじめてから5年ぐらいたっているのですが、これも補助制度として件数は伸びていません。これに替えて、経営革新計画を立てて新しい商品を作ったり、見本市に出展して売り込みをかけようという積極的な事業者については補助をしていて、県の認定を受けたというようなところに捉われないような形での支援ができればということ考えています。

その下の「操業環境継続奨励金」というものが、工場が立地していた敷地から移転するとなった場合に、その後工場がまた設置された場合については、その移転のときにかかる登記などの費用について、両方とも事業者支援しようという形の事業でございいます。これは非常に複雑で、前の事業者がいて、後の事業者がいて、それで成立するという補助になります。現状の課題である、工場がなくなってそこに家が建って、それで隣に元々あった工場がうるさいと言われて困るという構造になっていることに対する対応ではなく、工場だった敷地に別の事業者が替わって工場が立地していくということに対する奨励金になっています。工業者の話を聞くと実際に起こっている問題が、その後から建った住宅の方からの苦情に対して困っているというところがありますので、それに対して苦情が出ないようにするために設置する壁や植栽などの対応に対して「操業・住環境保全補助金」ということで支援の形を変えようということ考えています。

あと下から2番目のところに書いてある在宅ワークセミナーというものもございいます。こちらが、クラウドソーシングといいますが、会員になりまして、ウェブ上で執筆やチラシづくりなどの仕事をあっせんするようなサイトがあります。その登録をして仕事をするような方に対して、そのやり方についてセミナーをするという事業をやってあります。これについても、ウェブ上で仕事を取ってきて、仕事をするということが、少し前の状況からは変わってきていまして、そういう仕事の仕方の認知がされていなかった状況から、今現在は認知が進んでいるので、これについても市が事業をして啓発を進めていくというふうな役割は終えたと考えているところです。

部会長

それでは、そのほか質問、御意見ございますでしょうか。

<p>委員</p>	<p>起業のところですが、川西市には起業・創業に向けた支援をするというのが一番ぴったりのと思います。言葉の使い方としてタイトルに「イノベーションの活用」という言葉を使っています。イノベーションというのは最近の言葉で経営革新とか技術革新とか、そういうのを総称してイノベーションって言葉を使いますが、イノベーションを活用した地域の活性化、という表現をするのかなというところ。この「しごとの創出」というところはいいし、新たなビジネスを生みたいという意味で、気持ちはよく分かりますが「イノベーションの活用」という表現についてご検討ください。</p> <p>それで、全体的なつくりで、一番下にある「産業を担う人材確保と育成」と、この「しごとの創出」というのが、別の柱立てになっています。やはり川西市の場合には、新たな起業者を育てることと、そのビジネスと仕事をしたい人のマッチングをするのが一番ポイントじゃないかと思うんですね。ですから、別にするのではなく同じ柱の中に新たなビジネスを支援するというのと、人材を育成してマッチングするというのを一つにまとめたらどうかと思います。柱がどうしても四つ必要ということであれば、商業や工業、農業を少し分離するとか、分けて二つの柱にするとかにして、ここは部会長とか皆さんの意見もあると思いますけど、一つにした方がいいのかなと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>1点目に御指摘いただいた「イノベーションの活用」というのは、確かに居心地がちょっと悪い表現になっているかと思いますが、「しごとの創出と新たな活力の創造」ですとか表現を検討してください。ビジョンに沿うようにお考えいただければと思います。恐らく私も全編見て、幾つかそういう表現ありましたので、1章から、もう一度その辺りを精査していただければと思います。</p> <p>2点目に関しては、これ全体的な柱の組み方にも関わってきますので、一度、事務局の方でお考えいただければと思います。貴重な御意見ですので、いい形で反映できるようにお考えいただければと思います。</p> <p>逆の言い方をすると、非常にこう産業の振興というものに対して、例えばハローワークがすべき仕事を入れて、市が行うべき産業振興のビジョンの中に入れるべき項目として、どうなのかといったような考え方もできます。私もこの労政に関する点というのは、非常に扱いは難しいといいますが、他の柱の中に埋め込んでいく形もあれば、補足的に三つの柱と同列で扱うのではなく、それを支えていくような位置付けも考えられますので、少しその辺り考えていただければと思います。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>細かいことで恐縮なんですけど、38ページのところの理念で、働く人、暮らす人、訪れる人と、その下に丸が文章でありますけれども、もしこの理念と人の周りを呼応させるのであれば、「訪れたい」と「暮らし続けたい」の順番を入れ替えてはいかがでしょうか。</p> <p>あと参考までにお聞きするのですが、黒川で新たなプレイヤーが育っているということですが、何をしようとしている人が、具体的にどのような人が把握されておられれば教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、実際に動き始めているところが、箕面にフリースクールがありまして、そこが黒</p>

	<p>川公民館を活用して、そのフリースクールの授業やワークをするというのは聞いております。</p> <p>あとは、実現するには用途地域の規制があってできていないんですけども、あの地域で飲食店を始めたりとかいうことを思っいらっしゃる方がいたりというところですよ。</p> <p>もう一つ、県と連携をして木質バイオマス。先ほど里山森林の保全というところとも関連させながら、黒川の間伐の木材を活用し、バイオマスを使ってエネルギーに変えて、そのエネルギーをまたこの里山の、例えば先ほどグリーンズロ モビリティ、これは今は中心市街地での試行ということを考えていますけれど、最終的には、黒川でも走らすということも考えたいというふうに思っていますので、新たなクリーンなエネルギーを活用したものを、黒川のグループが、これから立ち上げていきたいというふうな動きはあるということです。</p>
部会長	<p>1点目は、非常に重要な点ですので、全体を変えていかれる中で順序が変わってきたりすると違和感がありますので合わせていただくようよろしくお願いいたします。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p>
委員	<p>質問ですが、評価指標についてお話があったんですけども、この部会で意見を出すような評価指標は部会の範疇に入っているのですか。</p>
事務局	<p>どういったものが適切な評価指標としてあたるのかについて御意見をいただけたらと思っています。</p>
部会長	<p>今、ぱっとは出せませんので、次回までにもしお気付きの点があれば。</p>
委員	<p>私はほかの自治体でも、そういう評価をお手伝いさせていただいていますが、アウトカム指標はおっしゃるとおり5月とか6月に前年度の事業について評価するときに、集計されてないのが多いです。そういう意味でアウトプットでもいいわけですね。</p>
事務局	<p>中心市街地への出店数も入るんですか、それともやはりアウトカム。</p> <p>どのレベルの指標で見ているのかっていうところだと思います。</p> <p>例えばそれぞれの事業単位で見れば、この制度は何件ですというふうなことが出てくるのはすぐ取れると思うんですけども、産業全体を見ますよとか、そういうようなところについて見る指標にしてついてアウトプットはどうかと。</p>
委員	<p>両面だと思いますけどね。ただアウトプットとアウトカムが両軸だと思うので、まだ中身が決まってないので、評価指標設定できないと思うんですけども、それは今後、少しずつこれに入れ込みながらですね。</p>
事務局	<p>次回にはそれなりの案として提示させていただいているというふうには思っております。</p>
委員	<p>ビジョンとか計画系はアウトカムで評価しようという、指標のルールは市では統一されてないんですか。</p>
事務局	<p>事業がアウトプットで、施策単位ではアウトカムと統一をしています。</p> <p>ですから、新規事業を立てるときには、必ずアウトプット指標はセットで立てることになっています。それで、プラン全体としてはアウトカムで評価する。これが望ましいというふうに考えていますが、例えば5年でないとこの資料が出ないであるとか、そう</p>

委員	<p>いった中でなかなか難しい場合があります。適切なアウトカムがなければアウトプットをもってあてるといことも、これは仕方ないというふうに考えています。</p>
部会長	<p>そうすると、やはり特にアウトプットですと、もう少しこうアクションプランが一応ラインアップされてからのことになります。</p>
部会長	<p>その点では、ちょっと先走りですけど、次回の全体会議までに、一度部会の先生方、委員の皆様方にちょっとできあがったものを見ていただくという時間は取れる方向ででしょうか。そのときに指標の適正ですとか、御意見を事務局の方にいただければと思います。</p>
委員	<p>一つ、提案がございまして、アクションプランの例示をたくさん入れていただいて、メニューはたくさんありますが、私の経験から言うと、補助金とかの支援を申請するときは、やはりメニューだけ並べていても、起業者の計画を作ってくれと言ってもなかなか難しい場合があります。これが補助金を設けても活用できないことにつながるケースがあるように思います。やはりそういった人たちを支援する人材の確保と育成というところは商工会の方がやられるんでしょうけど、経営指導員の方もなかなか大変かと思えますので、民間の支援する方を確保しながら育成する仕組みを入れといたほうがいいのかなと。こういうふうなのが入ると、せっかく作られた補助金も効率的に活用していただくことにつながると思います。御提案させていただきます。</p>
部会長	<p>確かに前回の部会のときにも、実際になかなかこう制度が使われてないということも出させていただいており、メニューが並ぶのは非常にいいことですけど、どういう使い方ができるのかを支援する人材という形で意見いただきました、御検討の方をお願いいたします。</p>
委員	<p>専門のところなので、ちょっと気になりまして、コワーキングスペースの運営補助金がアクションプランの中に入っています。多分詳細はこれからだと思いますが、運営となっているのでハードではなくて、運営にかかるコストに対してのというイメージなのかと思います。その辺りのイメージはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>コワーキングスペースの設置にかかる補助というのは、兵庫県が行っておりまして、それは結構な金額が出ています。そこについては県の補助なので、県全体で何件が受けられるかというところがあるのですが、自費で設置される方や、事業転換してコワーキングスペースを始められる方もおられる可能性もあり、その場合に対しても、運営にかかる費用を助成するっていうようなイメージで書かせてもらっています。</p>
委員	<p>情報提供レベルの話ですが、特にハード寄りのものって、コワーキングスペースを作ると言いつつシェアオフィスを作っているようなのが散見されます。ただ箱を作っただけで、個室に人がたくさん入り、特にそこから何か生まれてきたりとか、にぎわいにつながるようなものを作るのにお金をかけているのが割とあります。コワーキングスペースの定義を盛り込んでおくと、より効果が出やすくなっていくというのは、実際にやっている身としては思うところですね。なので、運営に対する補助っていうのは、とてもいいことだと思います。私のところも作った後にハードに対する補助が大阪でできてもらえなかったとかいうのがあったりします。あとはその運営の部分は、コワーキング</p>

	<p>スペースはやりようでどういう色にでもなっていくので、行政的にまちをこういうふうにもっていきたいっていうような要素を盛り込んでいくと、よりいい場になっていくんじゃないでしょうか。例えば、川西には観光案内所がないという話があったと思います。もし中心市街地の方に作るのであれば、観光案内所の機能を入れるとかの要件を入れるとか。必ずクリアしなければならないとしたら、ちょっとハードルが高いんですけど、そういうものをいろいろ入れて組み合わせることによって、より意味のあるものになるんじゃないでしょうか。他には子どもを預かれる場所にしたいという色などの考えようがあるというふうに思っています。</p>
部会長	<p>これは少し先の話になると思うんですけど、コワーキングスペースの利用者に対する補助金も幾つかの自治体であります。長野市や松山市ですけど、起業するためにそのコワーキングスペースを使う人に対して半額補助みたいなもので、結局のところ、場を作って、使ってもらうことが必要なので、そういう補助を試されているところがあります。</p> <p>この起業の部分は、四つの柱で同列のように扱われますけど、非常に今回の産業ビジョンとしては、非常に大きな位置付けでもありますので、できるだけうまく利用できるようにご提示をいただければと思います。</p> <p>それでは、そのほかいかがでしょうか。</p> <p>今の起業のところですが、女性起業塾もなくされるという理由をお聞きしました。総合戦略の方でも、女性に特化する必要があるのかということもあったのかもしれませんが、そもそもほかのところに関しては、利用度が低かったり、代替案があってなくされるというのが多いと思うんです。女性起業塾に関しては結構好評でというお話があった中で、しかも恐らく女性起業塾は立ち上げられる段階で、商工会の創業支援セミナーも、元々ある中で立ち上げられたと思います。</p>
委員	<p>それでうまくいってる中で、また元に戻すというロジックがちょっと分かりにくいです。そのウーマンクリエイトをされていることは私も存じ上げています。起業された後のフォローアップでコワーキングスペースにつなげていくのはすごくいいと思います。小さいところから起業を始めようという需要を拾うところで、女性起業塾があったと思いますが、それを従来の商工会に戻されて、その辺の受け皿はどうなるのかといったところがちょっと心配に思いました。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>我々も、女性起業塾の成果は十分感じています。これをなくすということではなく、商工会の方が先行して進んでますが、そこにも女性を対象にした起業塾があるのであれば、この女性起業塾で培ったノウハウとか人材を、商工会の方にもってこれないかという思いがあります。また、せっかくウーマンクリエイトといった市民団体が育ってきている。今度は次の段階で、そこに対して何らかの支援ができないかというようなところを考えたところでございます。ですから、商工会との協議が必要になってきますが、起業塾そもそもの目的の部分は違う場所、違うやり方でできないかと考えております。</p>
委員事務局	<p>このアクションプランは、飽くまでも一部というような見方でしょうか。</p> <p>そうです、今の段階では、取りあえず出したというところなので、今後追加というのはあり得るというふうに考えております。</p>

部会長	そのほかいかがでしょうか。
委員	さっきも農業のことでお話したんですけど、やはりアクションプランの中に2020年の生産緑地制度の改正に対する対策、例えば道連れ防止策とかもアクションプランに入れられたらどうかと思います。条例改正を、すぐしますよね、今年度か。
事務局	面積要件の条例改正は、もう既に行っています。
委員	だからそういう部分も、その大量にその農地が宅地化されて市場に出てこないような対策はして、指定して保全するんだっていうのもどこかに入れられたらどうかと思うんですけど。
部会長	事務局の方でご検討いただくようよろしくお願いいたします。
委員	そのほかいかがでしょうか。 アクションプランを具体的に見させていただいて、全部数えてみたら、アクションプランが全部で67あって、そのうちの半数が新規事業で下線が入っています。これはどこまで市が関与して関わっていくものなのか。既存事業は恐らく関わってこられて、さらにこの新規でされる際に、市役所としてどこまで関わるのか。若しくは、前回の議論の時に「住民の方が結構積極的に動かれることもあるんだよ」というような話もあったかと思いますが、住民の方に逆に仕事をおろしていくような発想として、このアクションプランが組み直せないか御検討をいただけるとすっきりするのかなと思います。全てを市役所でするとなったら、すごい業務量になると思うので公募なり、市民の中でそういうことに興味があるよって言われる方々が競い合うように事業される方が事業者育成していくという意味でも、事業を活性化するという意味合いでもいいではと思います。具体的に新規で挙げていただいている内容は、どこまで市でやろうと思ひ、挙げていらっしゃるのかを、教えていただけるとありがたいです。
事務局	補助金であったり、その融資の関係の支援であったり、そういったものは市が実施します。 シェアリングエコノミーの検討については、市が直接的におぜん立てをしてということころは、難しい分野ではあるかと思っています。ここは市民の方なり事業の方に活躍していただくということが主になってくると考えています。企業版ふるさと納税というところについても、基本的にはそういうふうなことかなと思っています。 グリーンスローモビリティというの、市が運営をすることは考えにくいところでもありますので、ここは民間の事業者さんに入ってきてもらいながらやっていくべきだというふうに思っております。 観光についても、基本的に観光協会なり民間事業者なりが、主になっているところになります。市は後方支援というようなことになってくると考えています。 なかなか市が全部制度を作って手を挙げてやってくださいというのではなく、できれば市民の方に活躍していただくというのが一番、効果も高いと思います。
委員	もうちょっとそこがすっきりすると、後の評価指標とかにも関わってくるかなと思うので、どこまで関わってされるのかをまとめられるといいと思います。
部会長	基本的にはやはり市の産業ビジョンですので、市が中心になってされるプランという

部会長	<p>のがずらっと並ぶはずですけども、ちょうど45ページのところに、民間事業者の役割、関係団体の役割、市民の役割と掲げられてらっしゃるので、このアクションプランの中でも、市が100パーセント担うべき、あるいは市が中心となってやるべきもの、あるいは民間や市民の方々に多く参画していただくもの、まあその辺りがちょっと分かるような、可視化できるような形で記載していただければと思います。</p>
事務局	<p>この体系図を見ていきますと、前回の部会の意見を踏まえて、企業誘致を入れていただいているのですが、これを本当に入れるのかどうかを、きちんとこの場で確認しておかなければいけないと思っています。企業誘致というのは、やはり他の自治体の産業ビジョン策定でも、一番意見が分かれるところで、やはり市内で経済循環を引き起こしながら、内発的に産業振興を図るべきだと考えるところもあれば、外部資本を導入して企業誘致を図り市内の雇用にも関係してくるので企業誘致は大いに結構じゃないかと。その辺りは大きく意見が分かれるところです。</p> <p>今までのビジョンでは、あえて企業誘致というのは、川西市の場合は入っていませんでしたので、これを今回入れるとなると、実は非常に大きなポイントになります。それを部会として、こういう形で次回の全体会議の方にお出しするということができればいいでしょうか。</p>
部会長	<p>前回の計画も、項目としては新たな土地利用による商工業の振興ということで、川西インターができる前の話ですが、そこに対して土地利用計画の策定を視野に入れて、開発計画を進められる状況にしていますという記載があります。基本的にはそのスタンスと同じことを続ける意味合いで、こちらに書かせていただいています。</p>
事務局	<p>前回は、企業誘致とまでは、はっきりとは明示してないわけですね。</p> <p>産業系の土地利用導入の可能性など、時代の要請に応じた土地利用計画という内容を引っ張っていきます。実際に土地利用計画自体については、産業ゾーンとして事業者がきたらいいなというような形の利用計画にはなっています。</p> <p>一応、市としては、項目としてこれはやはり入れたいというか、今回入れるような方向で提示するということですね。</p>
部会長	<p>ちょっと今言っていたとおりのことがあると思います。</p> <p>分かりやすくするために企業誘致という言葉を書きましたけれども、今の議論を踏まえまして、前からの産業ビジョンと同様にぼやとした言葉にするかどうかを、ちょっと我々の方で議論させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>もしそれでやはり合意として入れていくという方向であれば、これは起業としてここに入れていいのかというのが、次の論点として出てきます。起業というのは、やはり市民の方、あるいは川西市民じゃなくても近隣の方が、やはり川西市内で梅田にも近いし、この利便性も利用して、いろんなコワーキングスペース運営していくような設備も整いつつあると。川西市内でやはり業を興していきたいという方向性ですので、外部から大きなものを持ってくるというのは、これを起業として捉えていいのかというような考え方もあると思います。もし入れていく方向性で協議されるのであれば、位置づけについて御一考いただければと思います。</p>

	<p>二つ目が、商業・工業・農業という、これは非常にオーソドックスな従来型の枠組みですけれども、川西市のGDPを見てみましても、農業はわずか0.1パーセント、工業は14パーセントぐらいです。商業というのは卸売、小売り合わせても29パーセントぐらいで、非常に産業構造全体の中で言うと少ないウェイトを占めているところを柱として設定されて、その存続と今後の発展、活性化というものをビジョンとして挙げられています。ただGDPを見ると、川西市の産業というのはサービス業で6割以上が占められているような状況となっています。ここに言及せずに、税金を割きながら、商業工業農業の振興を図っていくというビジョンの持ち方になります。これを大きく組み直すのは難しいと思いますので、やはり6割の経済的パワーを持つサービス業について言及していかないと、6割を占める関係の方々を見るとどうかということにもなりかねません。そのうまくバランスを取って、ビジョンとしてどういう産業を今後の10年見据えて育成して、施策を図っていきたいのかをお出しいただければと思います。</p>
委員	<p>そうですね、観光も、パーセンテージも出せないぐらいの産業としてのレベルのですね。だから部会長がおっしゃるように、観光も含めて言えば、ものすごく支援の小さいところに大きくスペース割いているということになると思いますね。</p>
部会長	<p>決してそれが悪いというわけじゃなく、農業も工業も商業も非常に大事な、やはり経済の根幹を支える要素だと思っています。ただ実態としては、もう非常にサービス産業化で川西市というのは立脚している。そういう土地柄ですので、そこはやはり反映できるような形にしないと、非常に従来型の枠組みを踏襲する形で作っているということにもなりかねないので、その辺りを御検討いただければと思っています。</p>
	<p>その際に、都市型産業ですとか、文化や芸術に関わるような部分とか、それがビジョンにうまく何か入れ込めるかどうかというのは、別問題かもしれませんが、そういう都市型産業といった言及がちょっと入ってこない、実態とはかけ離れたビジョンになってしまうのではないかという懸念があります。</p>
	<p>商・工のそれぞれこの枠組みは置いていただくとしても、ちょっと農業の占めるこのスペースが大きすぎるんじゃないか。これは「川西市の産業ビジョンというのは農業重視ですか」と実態と合わない面があります。この柱は商・工の柱としては二つになっていますので、その辺りとバランスを考えていただいて、各産業を同じような目線で見てという作り方ができればいいんじゃないかと思っています。</p>
	<p>注文ばかりで申し訳ありませんが、次回が全体会議に提示するという、なかなか突貫工事というか、非常に時間のタイトな中ですので、今出せる意見は出しておかないと、次回はほぼ完成品が出てくることになりますので、委員の皆様方、もし気付かれた点がありましたら、残りの時間よろしくお願ひいたします。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この後御覧いただいて気付かれた点や意見を言っておかないといけないという点がございましたら、事務局の方にお寄せいただきたいと思います。次回の10月の会議で、ほぼ完成品のようなものが出てくるわけですね。</p>
事務局	<p>次が、全体会議として開催させていただきたいと思っています。</p>

<p>部会長</p>	<p>そのあともう一回、11月26日に最終の会議の予定となっております。</p> <p>ですから、1か月ぐらいのスパンしかございませんので、お気付きの点ございましたら、なるべく早く事務局の方にいただければ、できるだけ反映できるかと思しますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これで議事の方は終了です。</p> <p>またこの後、いただいた意見の方をできるだけ精査、反映していただきまして、次回にはもうほぼ原案という形で産業ビジョンの方を、また再び委員の皆様方に御審議、御検討いただくということになるのかと思います。</p> <p>それでは、これで審議の方全て終了ですので、進行の方を事務局の方に戻させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>佐々木部会長、進行ありがとうございました。</p> <p>先ほどちょっと申し上げましたように、次回は先日委員の皆様様に調整させていただきましたように、10月15日の火曜日でございます。</p> <p>これは推進委員会と部会の全体会となりますので、今までいただいた貴重な御意見を、ほぼ集約した形で皆様様に御提示することとなるかと思っております。</p> <p>それと、次には11月26日に第5回目として予定しておりますので、そのうちに市議会への説明でありますとか、パブリックコメント等の手続きを経て、この産業ビジョンが作り上がるというような段取りになっております。</p> <p>細かなところの表現の統一でありますとか、もう一度いわゆるデータから見た言葉の表現が正しくなっているのかとか、そういった細かいことも含めまして、それと全体の川西市が目指すビジョンをきっちりと精査しながら、短い期間ではございますけれども、次回に提示したいと考えております。</p> <p>本日は長時間にわたりまして御議論いただきまして、ありがとうございました。</p>